



戦後80年 被ばく80年の節目

しつかり氣を
引き閉めないと

卷之三

「活気があこた頃のよ
うに、みんなでもっと怒
らないと…」という、閉
会式で話された被団協田

うられません。核兵器をなくす願いを持つてたくさんの人が集まっているけれど、その勢いは戦後80年の間に弱くなっているのではないか。だからこそ、「核武装が安上がり」

と言つて憚らない政治家
が出てきてしまうのでは
ないかと思いました。節度
目となるこの年に、しつ
かり気を引き締めない
と一緒にいました。

じもを思い、自分を責めながら生きている」という話を聞いて、原爆はその人の人生までも壊してしまったのだと思いまして。辛い経験は、実はそ

事実を知つて
もらうことが大切
J M I T U
宮崎 広成

原水爆禁止 2025年 世界大会に参加して

平和を語り継いで いきたい

山田 真理子

被験當時 妊婦たゞ
女性が、お子さんをガ
で亡くして、身体に原
の傷跡を抱えながら、
に亡くなってしまった

いの原ひろみが
日常から、誰からも好
してもらいやすい雰囲気
を心がけ、いろんな人た
ちとつながり、平和を語
り継いでいきたいと思
ました。

事実を知つて
もううことが大

大會宣言

私たちは、今年の臨時大会で「京都総評ジェンダー平等宣言」を採択しました。

私たちは、7年の臨時入会で「京都認定シェンク「平等宣言」を探求しました。そして、この一年、「自分事の要求」を大切にし、「対話と学び合い」を通じて組合員の主体性を高め、要求の求心力で仲間を増やし、団結を深め、要求実現をめざしました。それらは、単産のストライキなどへの支援や、公務員賃金引上げをめざす官民総がかりのたたかい、教職員の給特法改正に対する「せんせい増やそう」キャンペーンなどに結びました。ストライキに立ち上がった生協労組の組合員は「改めて味方が多い心強い団体だ」と確信し、公務災害認定を勝ち取った組合員は「組合に入っていてよかった」と語り、福祉保育労働裁判での勝利判決でも、いっそう団結を深める到達を築きました。

25春闘では、昨年に続く8,000円台の賃上げを勝ち取りましたが、物価高騰を上回る賃上げには程遠く、低額回答が続くケア労働者や抑制されている中高年層の賃上げなどの要求実現へたたかいを強化する必要があります。最賃闘争では、3年連続で1万筆を超える京都最賃署名が後押しとなり、中央の目安を1円上回る答申を引き出しました。あわせて、国に対して中小企業支援策の強化などを求める要望も積み上げました。今こそ、賃金が上がる国をつくりましょう。

26春闌に向けて「すべての労働者・国民の賃上げ・所得の大幅引き上げ」をめざし、官民総がかりでの賃上げの好循環をつくりあげ、物価高騰を上回る大幅賃上げと京都での必要最賃時給1,900円の実現で生活を改善させましょう。労働基準法の解体を許さず、働くルールの確立を勝ち取りましょう。公共の再生や社会保障の充実、年金制度の改善で安心して暮らせる地域と社会をつくりましょう。

今夏の参院選では、物価高騰への悲鳴に対する無策と裏金問題も抱える自民党政治に対して審判が下り、与党が衆参両院で過半数割れとなりました。一方、改憲や排外主義を掲げる勢力や与党を補完しようとする勢力の伸長で、世論と運動とのせめぎあいが強まる情勢です。日本被団協がノーベル賞を受賞し、平和を求める世論が広がる一方、国内では大軍拡が進んでいます。京都でも、祝園弾薬庫の増設や舞鶴基地の強靭化などが進められています。戦後80年・被曝80年、軍拡ではなく対話での国際平和を実現するため、憲法を守り生かすたからに奮闘しましょう。

北陸新幹線京都延伸計画の中止にむけて、府民との共同を広げ、来春の府知事選挙で決着をつけましょう。

いま、分断や自己責